

AISIN

アイシン軽金属株式会社

経営理念／Company Principles

アイシングループ経営理念

“移動”に感動を、未来に笑顔を。



使命 Mission

私たちは、“移動”に自由と喜びを、
未来地球に美しさを運び続けます。

めざす姿 Vision

私たちは、夢と志をもって自ら行動し、
クリーンパワーによる“移動”的進化を核に
環境・社会課題に具体解を示し
誰もが安心・快適な未来を創ります。

提供価値 Value

・成長と幸せを働く仲間へ
多様な個性を尊重し、挑戦する企業風土の中で、
社会貢献を胸に自ら考えて行動し、自己の成長と働きがい、
人生の幸せを感じられる会社にします。

・安心と感動をお客様へ

より安全・快適・便利なモビリティを創造し、
“移動”的喜び・感動を届け、
お客様の期待を超える新しい価値を生み出します。

・持続可能な環境を未来へ

自然と調和し、誰もが安心して暮らせる社会のために、
モビリティの電動化やエネルギーを有効活用した
クリーンパワーを通じて、より良い環境づくりに貢献します。

ご挨拶／Greetings



取締役社長 西川 一浩
President Kazuhiro Nishikawa

技術に熱い気持ち、地域に厚い心を

社会から信頼される企業であること。人や地球の調和に貢献する企業であること。そしてお客様に喜ばれる企業であること。そうした考えのもと、当社は素材から加工・組み付けに至る幅広い総合技術で、自動車部品を主力に各種アルミ製品を提供しています。

材料開発・軽量化・コンパクト化技術はもちろん、安全性能と環境性能を両立した製品づくりに取り組み、「お客様第一」としてきめ細かいニーズに対応できる体制を整えていることが当社の大きな強みです。

一方、「モノづくりは人づくり」がベースであることから、人材育成塾を階層ごとに行うなど教育を徹底し、常に技術・技能のレベルアップと強化を図っています。さらに活発なQC活動により、従業員一人ひとりが最大限に能力発揮できる環境づくりも進めています。

また、地域とともに歩む一員としての役割を果たすため「アイシン企業行動憲章」に基づいたコンプライアンス経営を実践し、文化やスポーツ、ボランティア活動を通じた地域貢献にも積極的です。

アイシングループ経営理念である「“移動”に感動を、未来に笑顔を。」を基本に、アルミ製品づくりに対する熱い気持ちと、地域の発展に向けた厚い心で、アイシン軽金属はこれからも進んでまいります。また、事業活動を通じ、SDGs優先課題の解決に注力するとともに、カーボンニュートラル達成に向けた活動に取り組んでまいります。今後とも、皆様方のご支援とご指導をお願い申し上げます。



事業概要 / Outline of Business

「アイシン軽金属が誇る、つくりの技術。」

Production Technology that
AISIN KEIKINZOKU is proud of



アイシングループの全体図 AISIN Group Overview

株式会社アイシン

自動車部品・住生活・エネルギー関連製品、
福祉関連製品

アイシン高丘株式会社

アイシン化工株式会社
化成口・摩擦片・樹脂部品

アイシン軽金属株式会社
AISIN KEIKINZOKU Co., Ltd.
アルミニウム製品 アルミニウム製品

アイシン開発株式会社

アイシン機工株式会社
オートマチックトランミッション部品、
ドライブトレイン関連部品

アイシン辰栄株式会社

自動車部品のプレス加工・塗装 汽車外装部品

株式会社アイシン福井
オートマティックトランシミッシャン部品

豊生ブレーキ工業株式会社
自動車用ブレーキ部品

株式会社アドヴィックス
自動車用ゴム・オシフニル

アイシンシロキ株式会社
自動車用内装部品、車体外装部品、
鉄道車輛用品等

アート金属工業株式会社
各種内燃機関用ピストン・ピストンピン

技術開発

Technological
Development

「技術開発力」を核として

私たちがつくる多くの製品は、事故を回避し、環境を守り、時には人の命を助けることにつながります。そうした大きな責任を担うことを絶えず意識し、人や地球にやさしい安全なクルマ社会の実現を支えています。自動車の軽量化・安全性・環境性が求められる中、アルミニウムの無限の可能性に挑戦して新製品を開発し、お客様へ提案することにより、他社の一歩先を行く研究開発を具体化しています。また近年の急激な環境変化に対応すべく、CASE*関連の商品開発やカーボンニュートラルへの取り組みも行っています。

*CASE C : Connected(コネクテッド) S : Shared & Services(カーシェアリングとサービス)
A : Autonomous(自動運転) E : Electric(電気自動車)

製品開発 Product development

私たちは常にお客様の視点を大切に、安全で信頼される製品の開発に取り組んでいます。さらにお客様のニーズに応える製品開発だけではなく、日々変化し続ける多様な市場を迅速に先読みして製品化。自動車分野に留まらず福祉関連分野へも進出し、アルミ製品の領域を広げています。

● CASE製品開発事例



● 車いす用福祉スロープ



材料開発 Material development

当社では、アルミニウム合金の「強度」「切削性」「耐摩耗性」などの向上をめざした合金設計を行い、新材料開発や表面処理開発に取り組んでいます。自動車部品のさらなる品質向上に努め、アルミニウムの可能性に挑戦しています。

● 材料事例

ダイカスト材料

高延性ダイカスト材



センターサポート

押出材料

高強度押出材



アルミバンパーリングホースメント

切削性・耐摩耗性向上押出材



回生・制御ブレーキハウジング

工法開発 Industrial method development

より高品質な製品を安定して供給するために、当社では製品設計・金型構造・製造工程など、あらゆる観点からアプローチし、工法技術の開発に積極的に取り組んでいます。ここで開発される当社の工法技術は、重要なノウハウのひとつです。

● 工法事例

ダイカスト製品

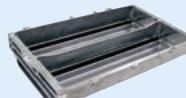
超低速鋳造工法

内部品質向上



超低圧鋳造工法

鋳造機のダウンサイズで低コスト化



センターサポート

押出製品

拡大押出成形工法

押出機のダウンサイズで低コスト化



ロッカーエンジニアリングアルミニウム

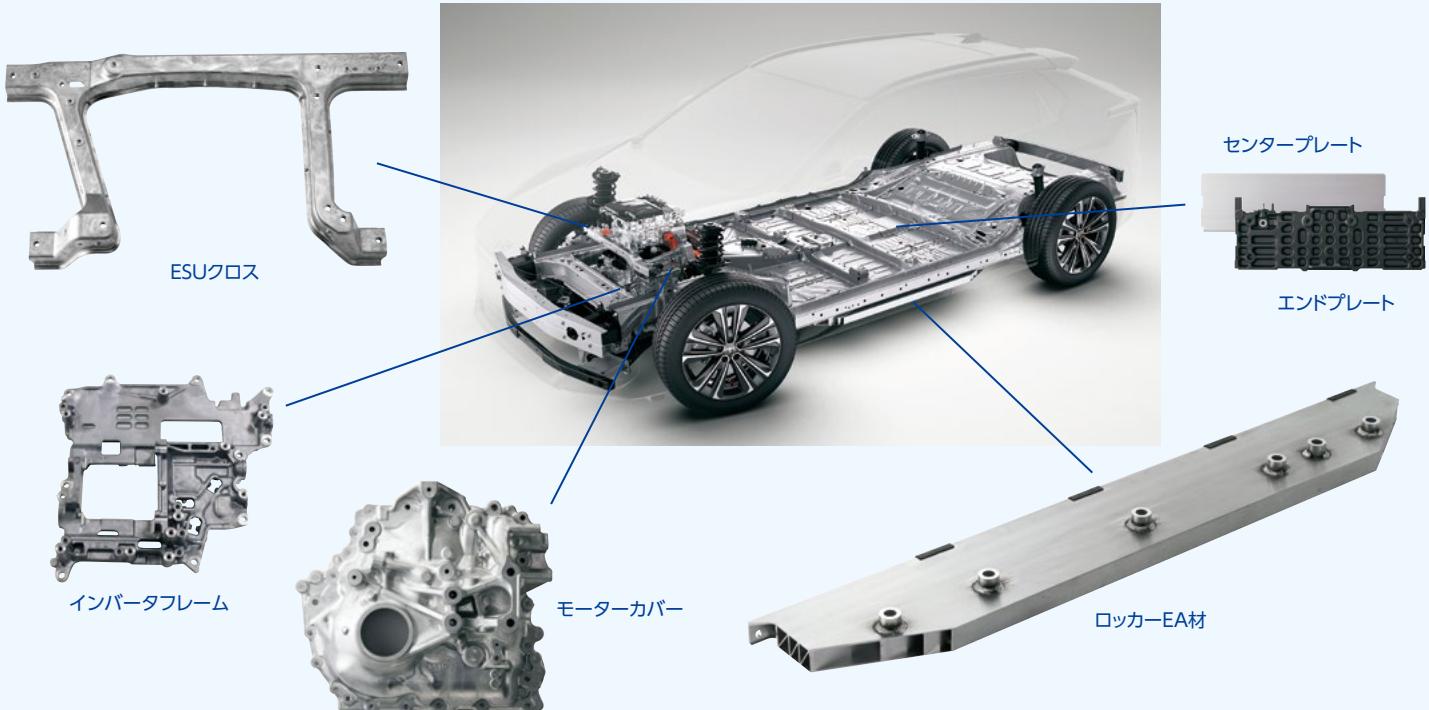
製品紹介 Products

〈自動車分野〉

CASE 製品

BEV (バッテリー式電気自動車 : Battery Electric Vehicle の略)

電気のみを使って走る車で、ガソリンを使わないためエンジンがない。



ダイカスト工程

Die-casting

- ① 鋳造
Casting
- ② トリミング(バリ・面取り)
Trimming(Burr chamfering)
- ③ 表面仕上げ
Surface finishing



100%良品保証したモノづくり技術

Our production technology guarantees 100% product quality.

「工程で品質をつくり込む」というコンセプトのもと、X線検査などによる内部品質のチェックや、鋳造工程から加工・組付工程に至るまでの一貫生産ラインにより、高品質を実現。

当社のアルミダイカストは100%良品保証したモノづくり技術です。

- ① アルミ溶湯を高速で鋳型内に圧入して鋳物を短時間で成形。薄肉で複雑な形状の製品でも寸法精度高い。
- ② トリミングマシンなどにより製品についたバリ(溶湯が流れ出てできる突出物)を確実に取り除く。
- ③ さらにはがれ・湯しわなどがないよう表面を美しく仕上げる。

押出工程

Extrusion

高強度・超精密アルミ押出技術

High-strength, high-precision aluminum extrusion technology

自動車部品には高い強度や精密な寸法精度が要求されますが、軽量化を強みとしたアルミ押出技術により、お客様の多様なニーズに応えています。

- ① 材料切断
Material cutting



アルミ材料を切断し、押出成形に最適な温度に加熱する。

HEV (ハイブリッド自動車 : Hybrid Electric Vehicle の略)

ガソリンで動くエンジンと電気で動くモーター、2つの動力源を備えている自動車。



トランスアクスルリヤカバー



インバータケース

■ ダイカスト製品

ユニット



クラッチドラム



センターサポート



ステータホイール



バルブボディ



バッテリーフレーム



電池ケース

■ 押出製品

ボデー



小型バス窓枠



ルーフフレール



サンルーフフレール



アルミバンパーリインホースメント

④ 画像検査 Camera inspection



開発した画像検査装置にて製品形状検査を自動判定。

⑤ 加工・組付 Machining・Assembly



作業負担を軽減する自動搬送ロボット。

⑥ 外観検査 Visual inspection



電動化製品の清浄度要求に応えるクリーンブースでの外観検査。

② 押出 Extrusion



押出ダイスにアルミ材料を押し付けて形材を成形する。

③ 切断 Cutting



成形後、押出形材を切断機で所定の長さに切断する。

④ 曲げ・加工・検査 Bending・Machining・Inspection



押出された形材は、曲げ加工→孔開け→熱処理→組付工程を経て製品となる。

製品紹介 Products

〈福祉生活分野〉

福祉に貢献した人に優しい商品

Products friendly to people working in the welfare field

福祉車両スロープ



スライド構造を採用することで、操作が簡単で、収納時はコンパクトに、展開時は緩やかな傾斜で車いすのまま車両への乗降が可能です。



携帯スロープ



福祉車両用アルミスロープの実績を生かして開発した、車いす用携帯スロープ

走行・機関

アルミドアフレーム



VVTハウジング、VVTローター



回生・制御ブレーキハウジング

クラッシュボックス



サスティナビリティ／社会への取り組み

Sustainability

自然・環境保護

■ ビオトープの造成

2016年より、有磯工場の遊休地を利用した「有磯ふれあいパーク」の整備を開始。パーク内にビオトープを設置し、生物多様性保全を推進しています。



青少年育成

■ 相撲教室



■ 地域児童による野菜の収穫体験



カーボンニュートラルへの取り組み

Carbon Neutral

カーボンニュートラルへの対応

グループ経営理念に掲げた「未来地球に美しさを運び続ける」の早期実現に向け、2050年にカーボンニュートラルの達成を目指すことを宣言しました。生産活動由来のCO₂排出量を、原材料等の調達から生産・販売・使用・廃棄まで含めたライフサイクルCO₂を削減する目標を設定し、活動を推進しています。

再生エネルギー活用

2022年度より、順次、既存建屋に太陽光パネルを設置等による再生エネルギーの活用を進め、2030年度までに再生エネルギー率50%を目指します。



人材育成

Human Resource Development

一人ひとりが自分らしさを生かし、成長と働きがいを感じる

従業員が働きがいを感じ、いきいきと働けるよう、自分の成長する姿を描き、さまざまな研修や教育カリキュラムを通じて、スキルを高め、能力発揮できるプログラムを用意しています。



安全教育

アイシン軽金属では、「安全と健康は、全てに優先する。」という考え方の下、入社してすぐに、社内の危険な場所や実際の工場を歩きながら、現地・現物・現認にて学びます。

まちづくり

■ 地域貢献活動

食品寄贈

社会福祉への貢献および食品ロスの低減を目的として、社内で備蓄している災害用保存食を地元のNPO団体を通して福祉施設などへ寄付し、社会貢献活動を行っています。



有磯ふれあいパークゴルフ場の一般開放

従業員の交流・健康増進および地域貢献を目的とした施設「有磯ふれあいパークゴルフ場」を有磯工場敷地内ビオトープの隣にて、地域住民の皆さんに一般開放しています。



省エネの取り組み

熱源、動力源、無駄レスを中心に、省エネ活動に取り組んでいます。

燃料転換への取り組み

溶解炉や保持炉の水素バーナー化やコジエネの水素活用、そしてメタネーションなどの開発をアイシングループとして取り組んでいます。

ライフサイクルCO₂削減

アルミニウムの特性を活かして、リサイクル技術の開発に取り組み、CO₂の削減を推進していきます。

QCサークル活動 (Quality Control)

全社品質管理活動の一貫として、同じ職場のメンバーとコミュニケーションを活用した小集団活動。自己啓発・相互啓発を行い、QC手法を活用して職場の管理、改善を継続的に全員参加で行っています。

専用研修施設：人材育成道場「はまち塾」

ここでは、実際にモノづくりをしながらの技能教育や安全に作業を行うための危険予知訓練や危険疑似体感を行ったり、階層別教育などの座学研修ルームがあり、総合的な教育研修を実施しています。



ACCESS MAP



＜交通のご案内＞

【お車でお越しの場合】

- 小杉ICから車で20分

【あいの風とやま鉄道でお越しの場合】

- 小杉駅から車で15分
- 高岡駅から車で20分

【JR北陸新幹線でお越しの場合】

- JR新高岡駅から車で30分

- JR富山駅から車で40分

アイシン軽金属株式会社

〒934-8588 富山県射水市奈吳の江12-3
TEL(0766)82-8800 FAX(0766)82-1109



コーポレート
サイト



リクルート
サイト